

ATR

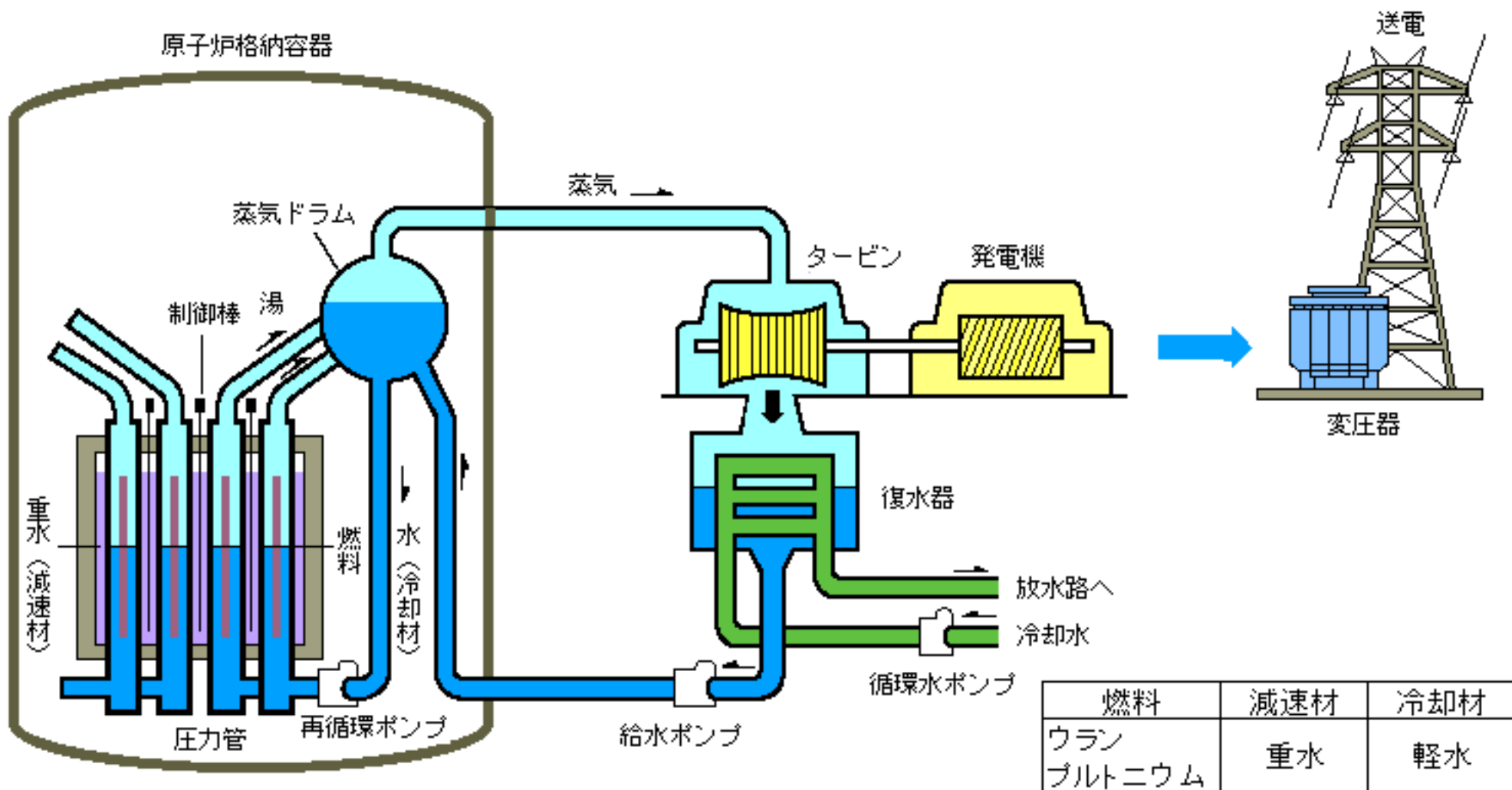
ATR えいていあーる

(1) Advanced Thermal Reactorの略称である。一般には1) 在来型炉（軽水炉、マグノックス炉）より良い経済性を持つ、2) 核燃料の効率的利用が図られる、3) 核燃料利用の多様性に対応できる新型転換炉をいう。動力炉・核燃料開発事業団の「ふげん」はこれを目指したものであり、日本ではこの形式の炉を「新型転換炉」呼んでいる。

(2) Advanced Test Reactor（新型試験炉）の略称。EG&G Idaho Inc. 所有の大型試験研究炉軽水減速軽水冷却、タンク型）。熱出力：250MWt、熱中性子束： $8.5 \times 10^{14} \text{ n/cm}^2/\text{s}$ 、高速中性子束： $1.5 \times 10^{14} \text{ n/cm}^2/\text{s}$ 、1967年7月2日初臨界。

<登録年月>

2001年09月



新型転換炉（ATR）原子力発電のしくみ

〔出典〕 核燃料サイクル開発機構ホームページ
http://www.jnc.go.jp/park/pocket/pdf/1_5_4_4.PDF